

甲斐市社協だより

かがやき

令和2年
8月1日 発行

74号

2020.8月

人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり



生活に困っている方への食料支援は
個人や企業のご協力により支えられています。
今年度は、夏休みこども支援事業を行いますので
皆様のご協力をお願いします。詳しくは8ページをご覧ください。

(よつげし響ヶ丘店)



社会福祉法人

甲斐市社会福祉協議会

<https://kaishakyo.or.jp/>



本所

〒400-0123

山梨県甲斐市島上条3163 敷島保健福祉センター内
TEL 055 (277) 1122 FAX 055 (277) 1284

竜王支所

〒400-0117

山梨県甲斐市西八幡3018-1 竜王保健福祉センター内
TEL 055 (279) 1112 FAX 055 (279) 1114

主な実施事業

1 ふれあい・支え合いの地域づくり

●生活支援体制整備事業

地域のさまざまな合い活動のための第2層協議体の立ち上げ支援及び活動支援等(詳しくは4ページをご覧ください。)

●ボランティア事業の実施

社協だよりの発行、社会福祉のつどいの開催等

2 暮らしを支えるサービスの利用促進と相談支援体制づくり

●権利擁護事業の推進

(法人後見の受任・日常生活自立支援事業の生活支援)

●介護事業所の運営

令和2年度末の事業所閉所に向けての通知・説明
利用者の他事業所への移行
※訪問介護事業所は令和元年度末で閉所

3 社会参加の促進と交流できる居場所づくり

●高齢者の介護予防、健康づくり事業

●高齢者、障がい者、子育て世代の交流事業

「人と人がつながり安心して暮らせる福祉のまちづくり」を指して地域福祉活動に取り組んでいます。

令和元年度事業計画に基づき、皆様にご協力いただきました社協会費や寄付金をはじめ、市からの委託金・補助金、県共同募金からの配分金、また介護保険事業等に伴う介護報酬で次の事業を実施しました。

事業報告

甲斐市社会福祉協議会年間報告

令和元年度



子育てサロン

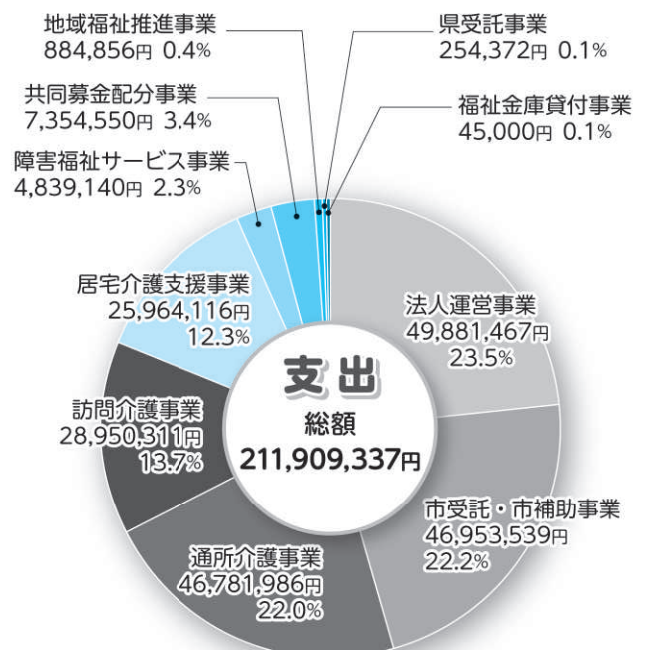
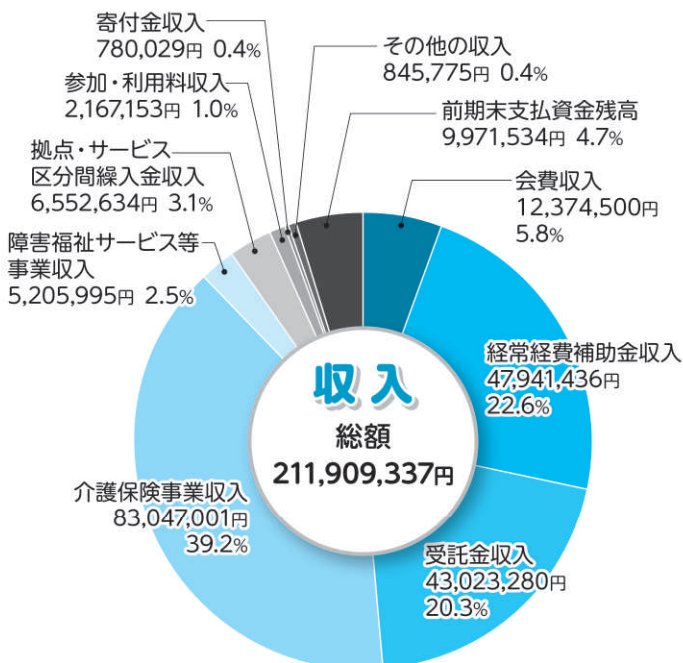


配食サービス



社協だより「かがやき」

令和元年度の決算がまとまりました



役員変更のお知らせ

理事・評議員の一部変更がありましたのでご紹介いたします。

役職名	前任者	新役員	代表区分	新役員任期
理事	小林 一彦	雨宮 優	地区推薦	令和2年6月25日から令和3年6月 定時評議員会の終結の時まで
	山口 順子	松本 剛	福祉団体	
	望月 映樹	石合 雅史	行政機関	
	—	柳本 博美*	学識経験者	
評議員	石田 博司	花形 保彦	地区推薦	令和2年6月4日から令和3年6月 定時評議員会の終結の時まで
	雨宮 優	穴水 剛		
	清水 忠	中澤 仙吉		
	内藤 進	高山満壽美	福祉団体	
	望月 喜房	山口 順子		
	鶴田 重雄	雨野 善彦		

*6月26日開催の理事会において、柳本博美理事が副会長に就任しました。

令和2年度 社協会費 ご協力をお願い

毎年、自治会を通じて一世帯あたり500円の会費をいただいております。昨年度は、22,225世帯にご協力をいただきました。

そのほか、多くの企業や団体の方々にもご協力いただいております。今年度も、よろしくお願いいたします。



会費の種類

一般会費	1口 500円
賛助会費	1口 1,000円
特別賛助会員	1口 5,000円

会費の つかいみち

皆さまから
いただいた会費は、
このような活動に
使われます。

- ボランティアや子供たちの育成のために・・・
〈ボランティアセンター事業の運営 ボランティアの育成 福祉教育事業〉
- 権利擁護の取り組みをすすめるために・・・
〈成年後見（法人後見）事業 日常生活自立支援事業〉
- 各世代の交流のために・・・
〈子育て世代交流事業 世代間交流事業 高齢者健康事業〉
- 広報啓発・情報発信のために・・・
〈ホームページ更新 社協だよりの発行〉
- 生活の安定のために・・・
〈食糧支援に関する活動 等〉

住民同士の
地域づくり

甲斐市「地域のささえ合い」

甲斐市では地域の住民同士がささえ合える体制づくりを推進しています。住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるよう、住民同士がささえ合える温かい地域を作っていきたいという思いで歩んでいます。今回は、これまでの「ささえ合い」の全容をダイジェストでご紹介します。



平成29年9月

地域フォーラムIN甲斐市 「甲斐市にも訪れる2025年問題 ~わがまちの未来を考える夜~」



ここから甲斐市のささえ合いの取り組みがスタート!
会場には、約400名の方に参加いただき、どのような地域づくりが必要なのかを考える機会となりました。
そして、フォーラム後の市民ワークショップを経て、甲斐市第1層協議体「甲斐市ささえ合い推進会」が立ち上がりました。



フォーラム会場の様子

平成30年3月

第1層協議体「甲斐市ささえ合い推進会」設立

甲斐市ささえ合い推進会は、市全域に係る地域課題やニーズの情報共有をするとともに、地域への働きかけやサポートを行うことで、住民主体の助け合い・支え合いの地域展開を図ります。
甲斐市ささえ合い推進会は、住民代表・団体代表で組織されています。
団体代表には、自治会連合会や民生委員児童委員協議会など地域で活躍する団体から推薦された方が所属しています。



平成30年度～令和2年度

市内全域に第2層協議体の設立を目指しています。



6月号の社協だよりも掲載させてもらったように、平成30年度～令和2年度にかけて、より身近な地域に広げていくために小学校区単位の地域で2層協議体の設立に取り組んでいます。



小学校区地域でのミニフォーラム・ワークショップ

自治会など、より身近な地域(3層地域)にささえ合いの大切さを広めています。



3層地域での説明会の様子(下八幡3区・吉沢地区)



1層協議体や2層協議体メンバーが、3層地域との懸け橋となり、自治会単位の説明会や意見交換などを行っています。
5年10年後、皆様の地域がより一層つながり合い・ささえ合える地域になるように今できる一歩を踏み出してみませんか。



新型コロナウイルス感染症の影響で多くの皆様が活動の自粛を余儀なくされています。一方で、こんな時だからこそ、何か少しでもできる事をしようとささえ合いの活動を続けている方もいます。

日頃からの住民同士のつながりが、いざという時に活着ていることがわかります。これからもお互いにささえ合える地域づくりを目指していきましょう。

★「私たちの地区はこんなことをしてるよ!」という情報がありましたら、ぜひ社協までご連絡ください。

自粛期間中のふれあいいきいきサロン 取り組み事例の紹介について

甲斐市社会福祉協議会では、令和2年4月現在、53地区でサロンが開催されています。

ふれあいいきいきサロンは、歩いて行ける身近な公民館や集会場で地域の皆さんと笑って楽しく仲間づくりをする集いの場です。

みんなで手芸や工作、簡単な手遊びをすることで閉じこもり予防や介護予防に大変効果があります。

元気いっぱいの方も普段外出をあまりしない方も気軽に集まっておしゃべりするだけで心も体も元気になります。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月から6月までは活動を自粛していただきましたが、自粛期間中も見守り活動など様々な取り組みを行っているサロンがありますので参考にご紹介させていただきます。

玉川西区いきいきサロン

毎月1回各班のリーダーと顔合わせミーティングを行い、感染防止対策や今後のサロンについての検討などサロン再開に向けての準備を進めています。



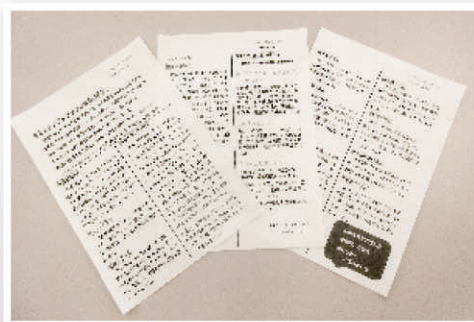
竜王3区いきいきサロン

先の見えない不安や会えない不安を解消するため、スタッフが試行錯誤し、会員の現在の状況を電話で聞き取り、それをお便りとしてまとめ、配布するなどつながりを大切にしながら活動を行っています。



竜王新町サンサロン

いきいきサロンができない期間を利用して、毎月実施している誕生日会の誕生日プレゼントを役員で届けるなど、戸別訪問でもよろこんでいただける企画を実施し、サロンができない間でも参加者との交流を大切にしています。



竜王3区いきいきサロン「お便り」

令和2年度も地域のサロンを応援します

市内のサロンの担い手の皆様につきましては、サロンが開催できない間に様々な取り組みや工夫、サロン再開に向けて体制の整備・強化を図っていただいております。新型コロナウイルスの感染が心配ではありますが、感染防止の3つの基本である①「身体的距離の確保」、②「マスクの着用」、③「手洗い」を徹底し、高齢者のいきいきサロン事業の取り組みを進めていただければと思います。

また、新しい生活様式に移行し、サロンを開催する場合においても、社協では開催にあたっての相談支援や人と人の距離を保ちながらみんなで交流できるスカットボールなど道具の貸出を行っています。

新たにサロンを立ち上げたいという地区に対して、設立支援もさせていただきますので、興味のある方はご連絡をお待ちしています。

甲斐社協 **ボランティアしょうほう**
Go 甲斐 ボランティア

●甲斐市ボランティアセンター

(甲斐市社会福祉協議会)

本所 ☎ 055-277-1122

☎ 055-277-1284

「夏!!ボランティア体験を開催します」

甲斐市ボランティアセンターでは、市内の小中学校の児童生徒を対象にいろいろなボランティア体験ができる「夏!!ボランティア体験」を開催します。

市内で活躍中のボランティア団体の協力のもと、新型コロナウイルス感染防止対策も万全に、ボランティアの第1歩となるよう準備しています。

保護者の方と一緒にの参加や友達との参加も可能です。

自分に合ったボランティア探しや夏の思い出にボランティアをはじめてみませんか。

開催日時 8月22日(土)
 午前9時30分～11時30分(受付9時～)

集合場所 敷島保健福祉センター 会議室

定員 40名(先着順)

内容 ①炊き出し体験 ②紙漉きはがきづくり体験
 ③点字体験 ④手話体験
 ⑤施設ボランティア(演芸)体験

参加費 無料

申込方法 電話またはメールにてお申し込みください。

その他 参加者全員に記念品を用意してあります。(スタンプラリー)



点字体験



炊き出し体験



紙漉きはがきづくり体験

65歳から始める生きがいボランティア

**「介護支援ボランティア」
 はじめてみませんか。**

介護支援ボランティア事業は市に登録された介護施設等でボランティア活動をすることで、自身の健康増進や介護予防、生きがいづくりになるとともに、活動後は介護支援手帳に活動スタンプを押してもらえます。その後、活動スタンプ数に応じて交付金が交付される事業です。(上限:年5,000円)

活動は、施設の利用者との話し相手やお茶出し・配膳、レクリエーションや行事の手伝いなど、だれでも簡単に始められる内容です。お気軽にご相談ください。

**個人ボランティア
 募集!!**

ボランティアセンターでは、施設やいきいきサロンなどで特技を活かしたボランティアを募集しています。施設での演奏や朗読、手品などの発表やボランティアセンターでのパソコンボランティアなど、様々な活動があります。皆様のご連絡をお待ちしています。



医療的ケア児等コーディネーターが配置されました

令和2年度より、甲斐市障がい者基幹相談支援センターに医療的ケア児等コーディネーターが配置されました。

医療的ケア児等コーディネーターとは、医療ケアが必要な方や、重度の障がいがある方の支援を総合調整する相談員です。

また、医療的ケア児等に対する専門的な知識と経験に基づいて、支援に関わる関係機関との連携(多職種連携)を図り、本人の健康を維持しつつ、生活の場に多職種が包括的に関わり続けることのできる生活支援システム構築のためのキーパーソンとしての役割があります。

問い合わせ先 障がい者基幹相談支援センター ☎055-267-7010 FAX055-277-1284



どんなことが相談できるの？

- 福祉サービスの利用方法について知りたい。
- 障害者手帳・日常生活用具・補助具・手続きなどの事務手続きを手伝って欲しい。
- 在宅での生活に不安があるので、話を聞いて欲しい。
- どんな機関がサポートしてくれるか知りたい。
- 同じような子どもを育てている家族と繋がりたい。
- 就学や進学、卒業後について不安があるので、相談したい。 など



ご協力ありがとうございます



マスク寄付のお礼

社協の食品寄付箱で集めていた、マスクは6月末までに215枚と多くのご協力をいただきました。

集まったマスクは、福祉施設等にお届けする予定です。

食品寄付箱での募集は一旦締め切らせていただきました。

今後は、社協本支所にお届けいただきますようお願いいたします。

5月28日、竜王中学校の代表生徒より、手作りマスク50枚の寄附をいただきました。

社協デイサービスあてにいただいた手作りマスクには「一日でも早く一緒に笑顔で生活できるよう私達もがんばりますので、皆さんもお体に気をつけて生活なさって下さい。」など、心のこもったメッセージが添えられておりました。利用者さんもこのメッセージを見て、「元氣をもらえた」と喜んでいました。



県立農林高等学校同窓会竜王支部よりマスク1,000枚の寄附をいただきました。

5月18日、県立農林高校同窓会竜王支部の代表の方より、コロナウイルス感染拡大防止に必須の使い捨てマスク1,000枚をいただきました。

いただいたマスクは、社会福祉協議会の事業に有効に活用させていただきます。



敷島中学校の生徒が老人クラブに手作りマスク168枚を寄附してくれました。

7月1日、敷島中学校の生徒会から、甲斐市老人クラブ連合会にメッセージ付きの手作りマスクが手渡されました。

老人クラブでは、児童の帰り道見守りや地域の奉仕活動などを行っており、日頃の感謝の気持ちをメッセージ付きのマスクで伝えるために生徒の皆さんが心を込めて手作りしたそうです。



● 寄付金のご紹介 (敬称略)

多額の寄付をいただきありがとうございます。

ご寄付いただいた浄財は、子供の食料支援や地域福祉事業に有効に使わせていただきます。

● 古屋 明美 (甲府市在住)

生活のこと、仕事のこと、住まいのこと、お金のことなどで お悩みではないですか??

甲斐市社会福祉協議会では、失業、多重債務、病気、ひきこもり、障がい、高齢、ひとり親世帯など様々なことが要因となり、経済的に生活が困窮して、生活に不安を抱えている方に対して、一人ひとりの生活状況に応じ相談員等と一緒に、困っている今の生活状況から抜け出すためのお手伝いをしています。

自立相談支援

生活に困りごとや不安をかかえている方やそのご家族に対して自立相談支援員がお話を伺い、**どのような支援が必要になるのか共に考えます**。そのうえで具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら問題解決を図り、自立に向けたサポートを行います。



住居確保給付金の申請受付

離職、または離職相当(収入の激減)で、住居を失った方や失うおそれのある方に**就職に向けた意欲的な活動をする**ことを条件に、一定期間家賃相当額(上限あり)を支給します。

※申請にあたっては、一定の要件を満たす必要があります。



夏休み子ども支援事業として食料支援を行います

新型コロナウイルスの影響により、経済的に困窮する家庭の児童・生徒に対して、少しでも家計の手助けになるように食料をお届けする“夏休み子ども支援事業”を新たに実施します。

そのため、多くの食料が必要となっていますので、皆様の温かいご支援として食料の寄付にご協力をお願いいたします。

ご協力いただきたい食料

レトルト食品(子供向けのカレーなど) 缶詰 カップ麺 袋めん ふりかけ
お菓子 米(粳、玄米、精米は問いません) など



寄付箱の設置場所

- 甲斐市役所竜王庁舎
- 甲斐市役所敷島庁舎
- 甲斐市役所双葉庁舎
- 甲斐市社協本所
- 甲斐市社協竜王支所
- 甲斐市社協双葉支所
- いーなとうぶ竜王店
- いーなとうぶ昭和店
- よってけし響が丘店
- アマノパークス敷島店(食品寄付箱を設置していませんので、店員さんに声をかけてください。)



ご留意事項

未開封 常温保存可能 賞味期限の明記があり、1ヶ月以上の余裕があるもの

※甲斐市社会福祉協議会では、甲斐市パーソナルサポートセンター事業の食料支援として、生活支援が必要な生活困窮者等に対して、企業や家庭から提供を受けた食料を提供しています。この事業は、自立相談支援事業(このページ上部参照)と一体となった支援を行うことで自立した生活が送れるようサポートするものです。

● 食料寄付 [寄付期間:5月1日~6月30日]

(順不同・敬称略)

(個人) 岩田きみ江、西澤孝二、山本のり子、廣瀬佐苗、中村こはる、古屋明美、望月圭子、横森美保
(企業) 生活協同組合ユーコープ(おうちコープ)、櫛ろすまりん